

漁海況速報

No.11

平成18年3月17日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の波及は本県沖にはみられない。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週並み。本県北部海域沖30海里から本県南部海域沖20海里にかけてより沖合は広く10°C以上に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜、松川浦は平年並み、大熊は1°C低い。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

ムラサキイガイの麻痺性貝毒情報

平成18年3月13日に小名浜港で採捕した本県産ムラサキイガイ(通称シュウウリガイ)から規制値(麻痺性貝毒4MU/g、下記参照)の2倍を超える麻痺性貝毒10.3MU/gが検出され、平成18年3月16日から福島県下で採捕及び出荷等が規制されています。

また、トゲクリガニ、イシガニも毒化していることが推定され、採捕及び出荷等の自粛が要請されています。

※麻痺性貝毒1MU(マウスユニット)/gとは、体重20gのマウスを15分間で致死させる毒量をいう。

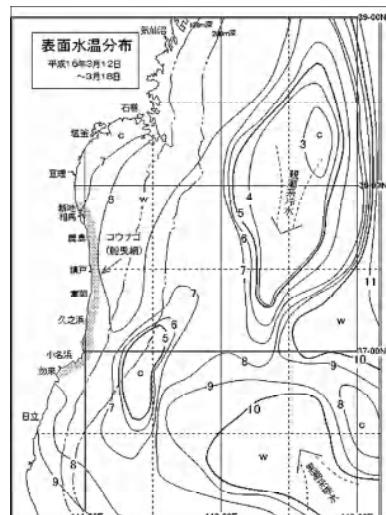


ムラサキイガイ

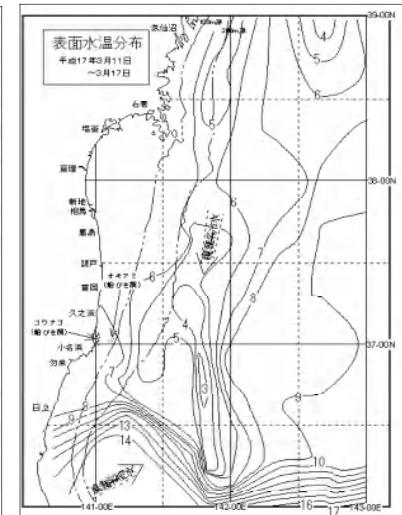


トゲクリガニ

平成16年同期



平成17年同期



定地・定点水温の推移(°C)

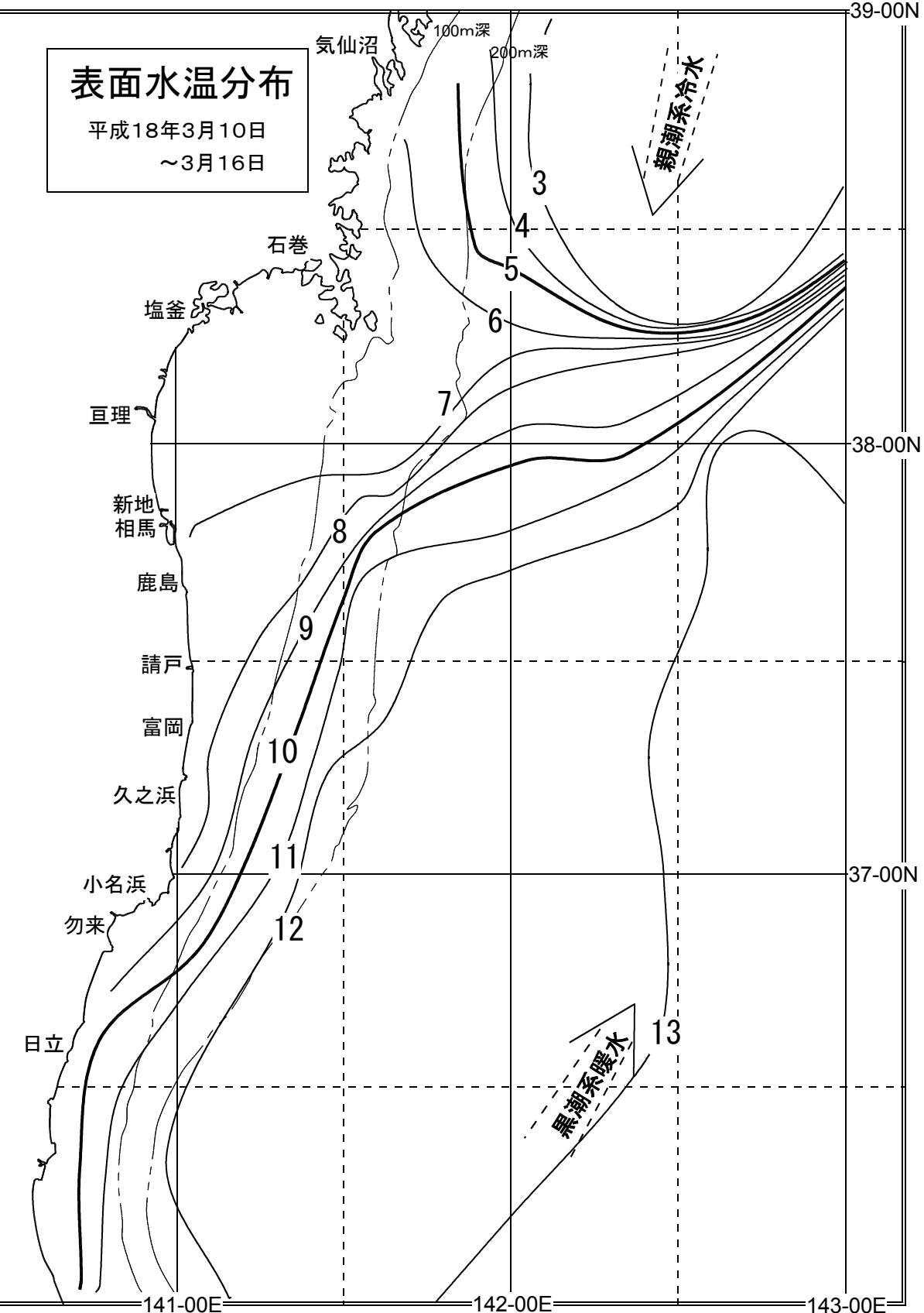
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/10	8.6	7.7	7.2	—
3/13	8.3	7.9	6.4	—
3/14	7.9	7.5	6.2	—
3/15	7.9	7.4	6.2	—
3/16	8.4	7.6	7.5	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年3月10日

~3月16日



漁海況速報

No.12

平成18年3月24日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の目立った波及び本県沖にはみられない。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週並みだが、本県北部海域沖ではやや降温した。
- ③定地水温は、小名浜は平年並み、大熊・松川浦は平年より1°C低い。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

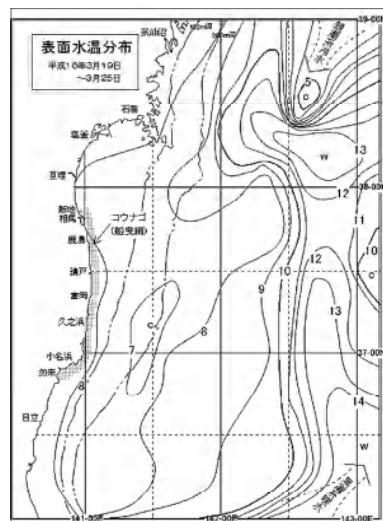
漁況情報(コウナゴ)

・3月22日までのコウナゴの水揚状況は以下のとおりです。(平成17年は3月末までの集計)

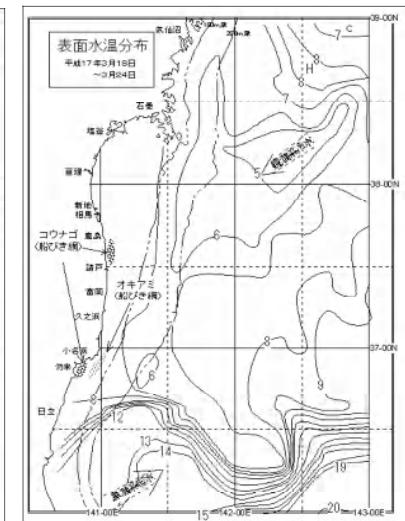
	相双	いわき	合計
平成18年	数量(kg)	40,550	28,243
	金額(千円)	22,667	16,279
	単価(円/kg)	559	576
平成17年	数量(kg)	113,453	20,958
	金額(千円)	82,597	14,232
	単価(円/kg)	728	679
昨年比	数量	35.7%	134.8%
	金額	27.4%	114.4%
	単価	76.8%	84.9%

・今漁期は昨年と同様に、漁期初め頃は魚体が小さかったため、本格的な着業は3月中旬以降となりました。単価は、他海域での豊漁予想もあってか、昨年比7~8割程度と安価で推移しております。

平成16年同期



平成17年同期

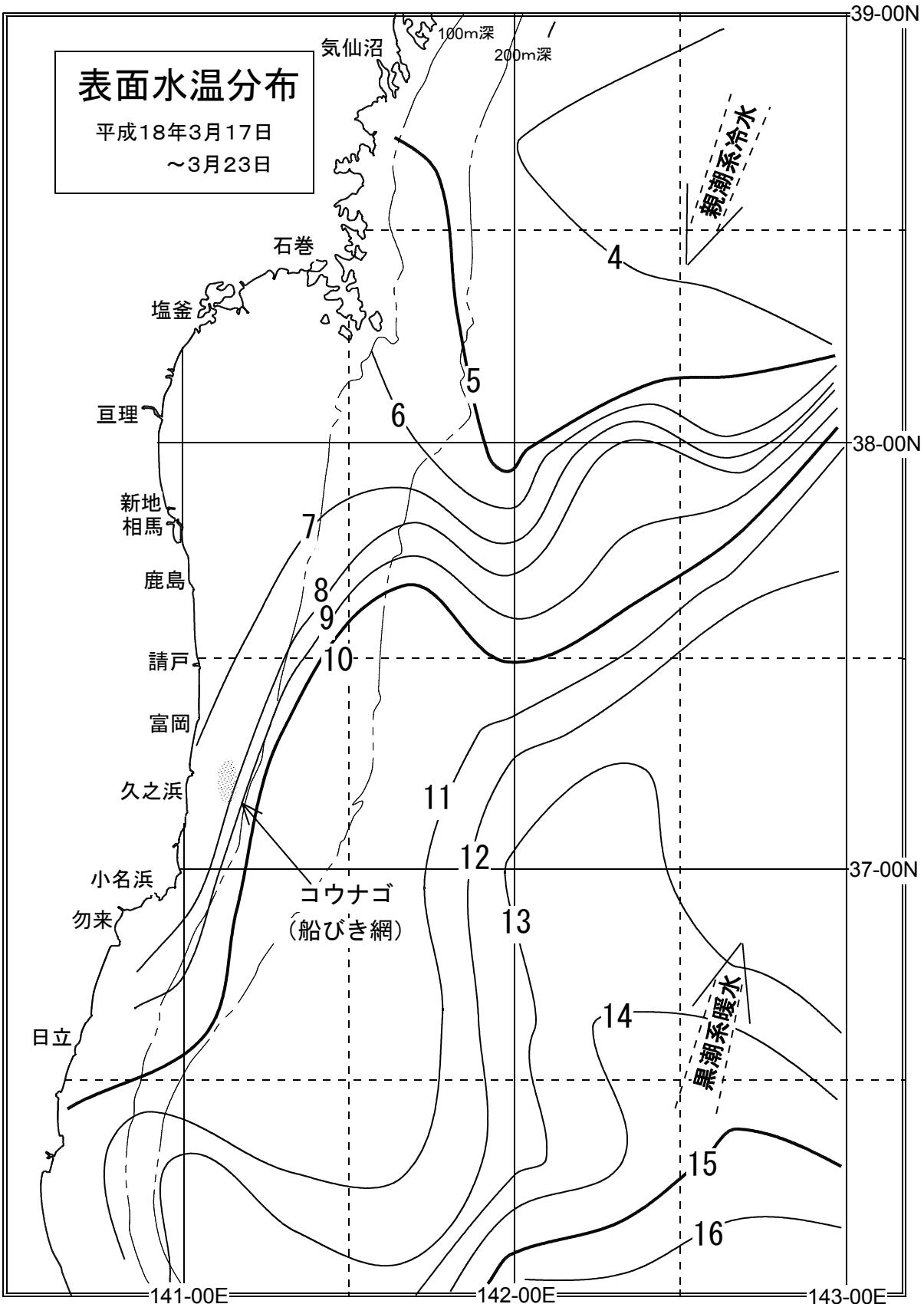


場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/17	8.6	8.4	7.3	10.7
3/20	8.4	7.8	6.5	10.5
3/21	8.4	—	—	10.4
3/22	8.7	7.0	6.5	9.9
3/23	8.7	7.4	6.5	9.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年3月17日
～3月23日



漁海況速報

No.13

平成18年3月31日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は新地沖50海里付近に北より波及する南端がみられる。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週並み。
- ③定地水温は、小名浜・松川浦は平年並み、大熊は平年より1°C低い。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成17年度第3回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報
独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所とりまとめにより3月24日に発表されました標記予報をお知らせします。

今後の見通し(2006年4月~6月)

一海況一

日本南岸の黒潮は、期間を通してN型基調で推移する。沿岸水温は、犬吠埼以北は「平年並み」~「低め」で暖水舌形成時に「やや高め」で推移する。

※ 平年並み=平年値±0.5°C程度、やや高め=平年値+1.0°C程度、低め=平年値-1.5°C程度

一漁況(来遊量予測)一

マサバ・ゴマサバ太平洋系群

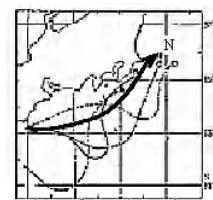
1歳魚は好調であった前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳以上は少ない。サバ類全体としては前年を下回る海域が多いが、紀伊水道以西は上回る。

マイワシ太平洋系群

低水準が引き続く。

カタクチイワシ太平洋系群

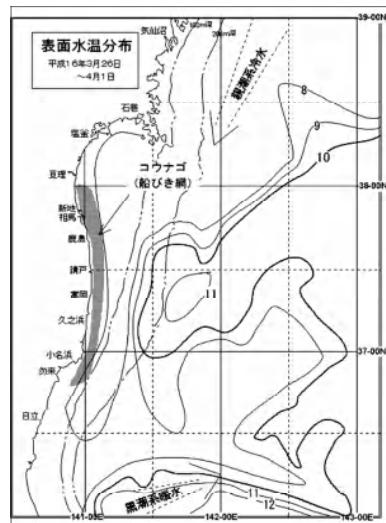
総じて前年並みか前年をやや下回るが、熊野灘以西では前年を上回る海域が多い。



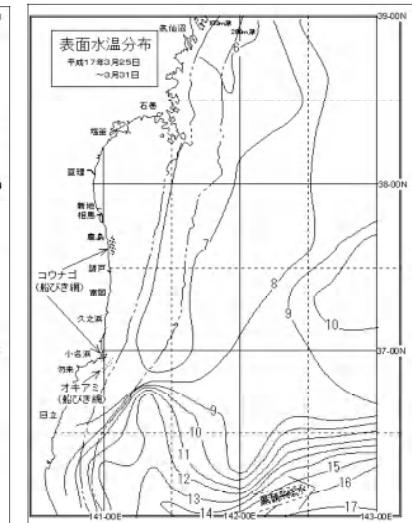
黒潮流型の分類図

河合秀夫 (1972)

平成16年同期



平成17年同期

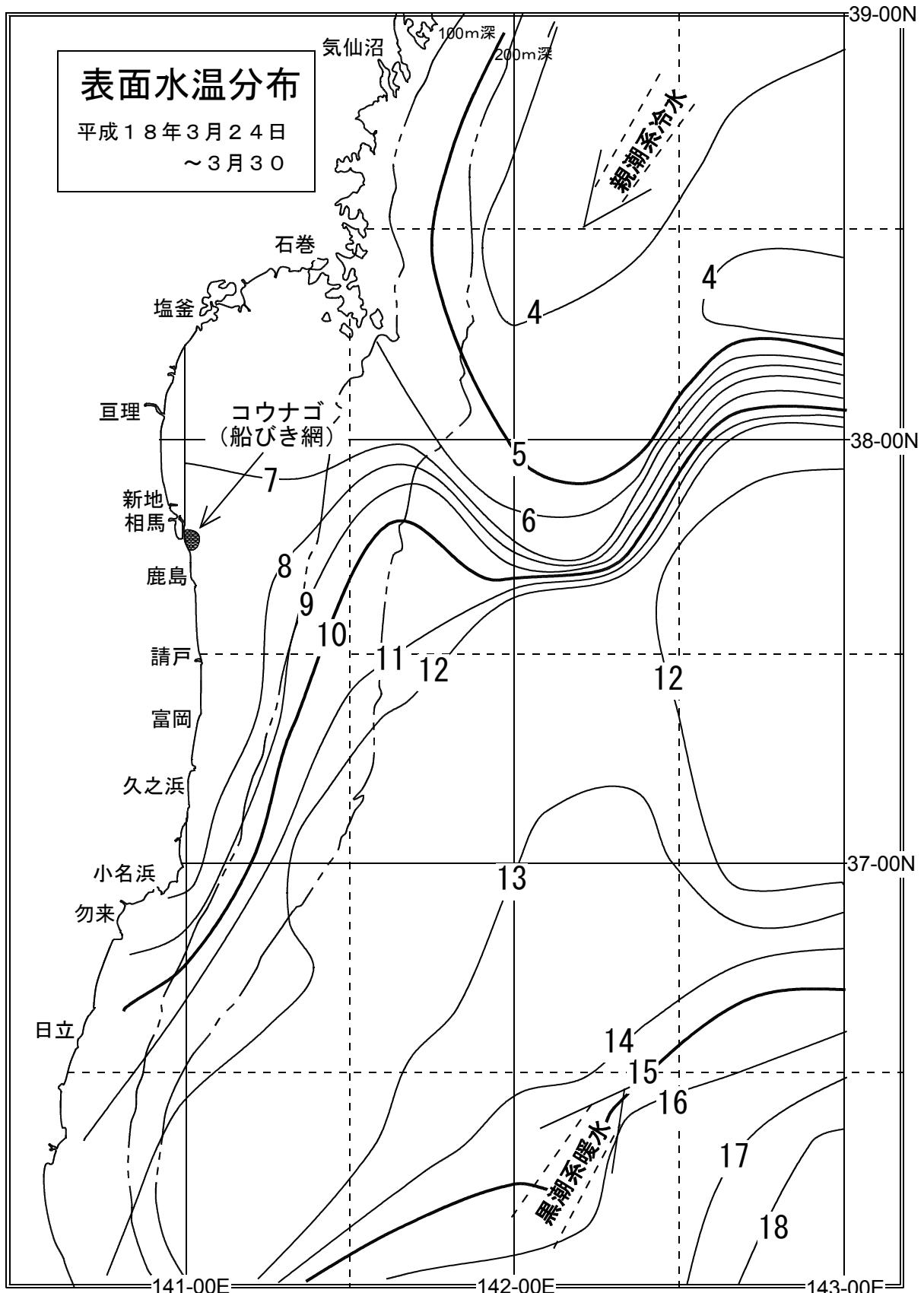


定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/24	8.6	7.6	7.0	—
3/27	8.6	7.5	7.7	—
3/28	8.7	8.2	7.9	—
3/29	8.8	8.1	7.8	—
3/30	8.7	7.7	6.9	—

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年3月24日
～3月30



漁海況速報

No.14

平成18年4月7日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の目立った波及びみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週より強まり、請戸沖40~50海里付近に13~15°C台がみられる。

③定地水温は、小名浜・大熊は平年より1°C低く、松川浦は平年より2°C低い。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報(ズワイガニ)

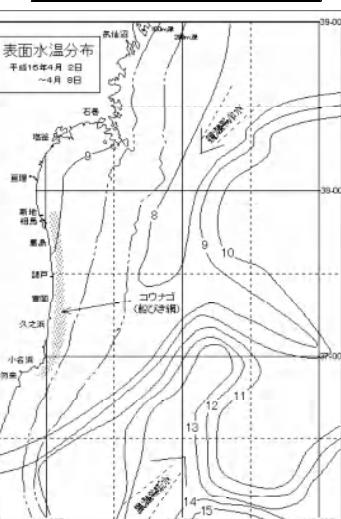
・平成17年度のズワイガニ漁が終了しましたので、概要をお知らせします。
・今漁期、昨漁期の水揚状況は以下のとおりです。

	平成17年度漁期					平成16年度漁期
	12月	1月	2月	3月	計	計
雄	数量(kg)	7,398	16,009	13,040	4,774	41,221
	金額(千円)	8,210	10,715	12,040	5,776	36,742
	単価(円/kg)	1,110	669	923	1,210	891
雌	数量(kg)	12,654	17,321	17,460	5,369	52,804
	金額(千円)	9,195	9,024	15,113	3,858	37,189
	単価(円/kg)	727	521	866	719	704
計	数量(kg)	20,052	33,330	30,500	10,143	94,024
	金額(千円)	17,405	19,739	27,153	9,634	73,931
	単価(円/kg)	868	592	890	950	786

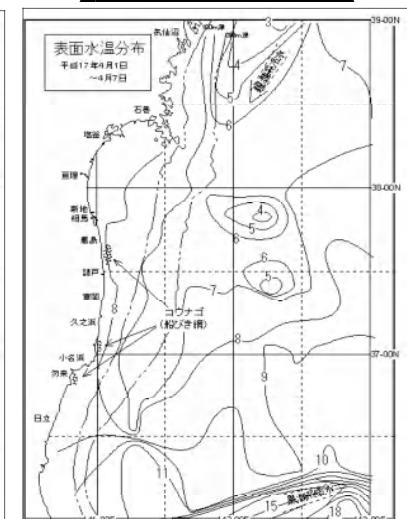
*相馬双葉漁協相馬原釜支所統計より

・数量は94トンと昨年の121トンを下回りました。この要因としては、単価が安かったために、着業隻数が減少したことがあげられます。ただし、漁期後半は、茨城県沖に漁場が見つかり、雄の大型個体が多くなったことから単価が上昇しました。

平成16年同期



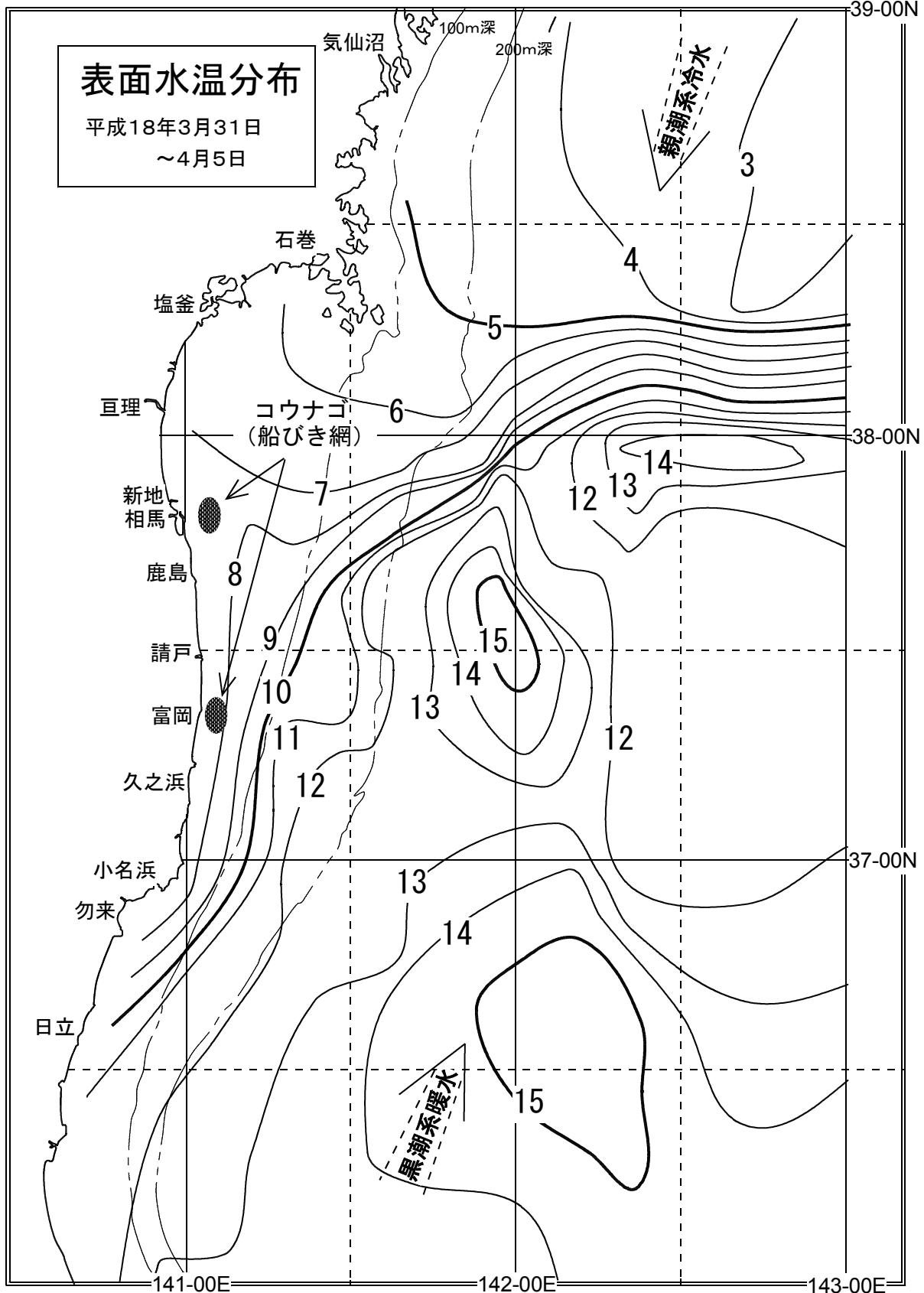
平成17年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/31	8.6	8.0	6.5	—
4/3	9.0	8.9	7.3	10.1
4/4	8.8	8.4	7.2	9.2
4/5	9.1	8.8	7.3	10.3
4/6	8.6	8.2	7.6	12.0

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



漁海況速報

No.15

平成18年4月14日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の目立った波及
はみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週並
で、本県中北部海域では距岸
25海里より沖合、南部では10
~20海里より沖合に10°C以
上が分布している。

③定地水温は、小名浜・大熊
は平年より2°C低く、松川浦
は平年より1°C低い。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移す
るでしょう。

平成18年4月海洋観測結果

・平成18年4月10~11日に調査船「いわき丸」
で行った海洋観測結果をお知らせします。(塩
屋崎・鵜ノ尾崎定線のみ。富岡定線は後日観
測予定。)・観測された水温の定線ごとの平均
値と前年差、平年差は以下のとおりです。

(単位:°C)

表面	塩屋崎	11.36	+3.97	+0.32
	鵜ノ尾崎	8.99	+1.90	+0.47
100m深	塩屋崎	10.70	+4.39	+2.06
	鵜ノ尾崎	9.50	+3.87	+3.07

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・3月中旬以降本県沖全域に波及している黒潮
系暖水は強い勢力を保ったまま持続し、100m
深水温では塩屋崎沖で平年よりやや高め、鵜
ノ尾崎沖で平年より高めでした。

・宮城県沖では親潮系冷水の強い波及がみら
れますか、本県沖への目立った波及はみられ
ませんでした。

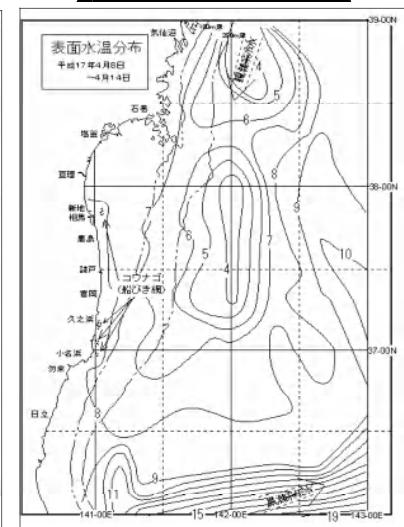
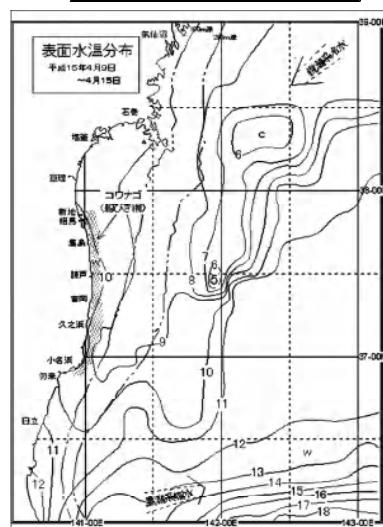
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)

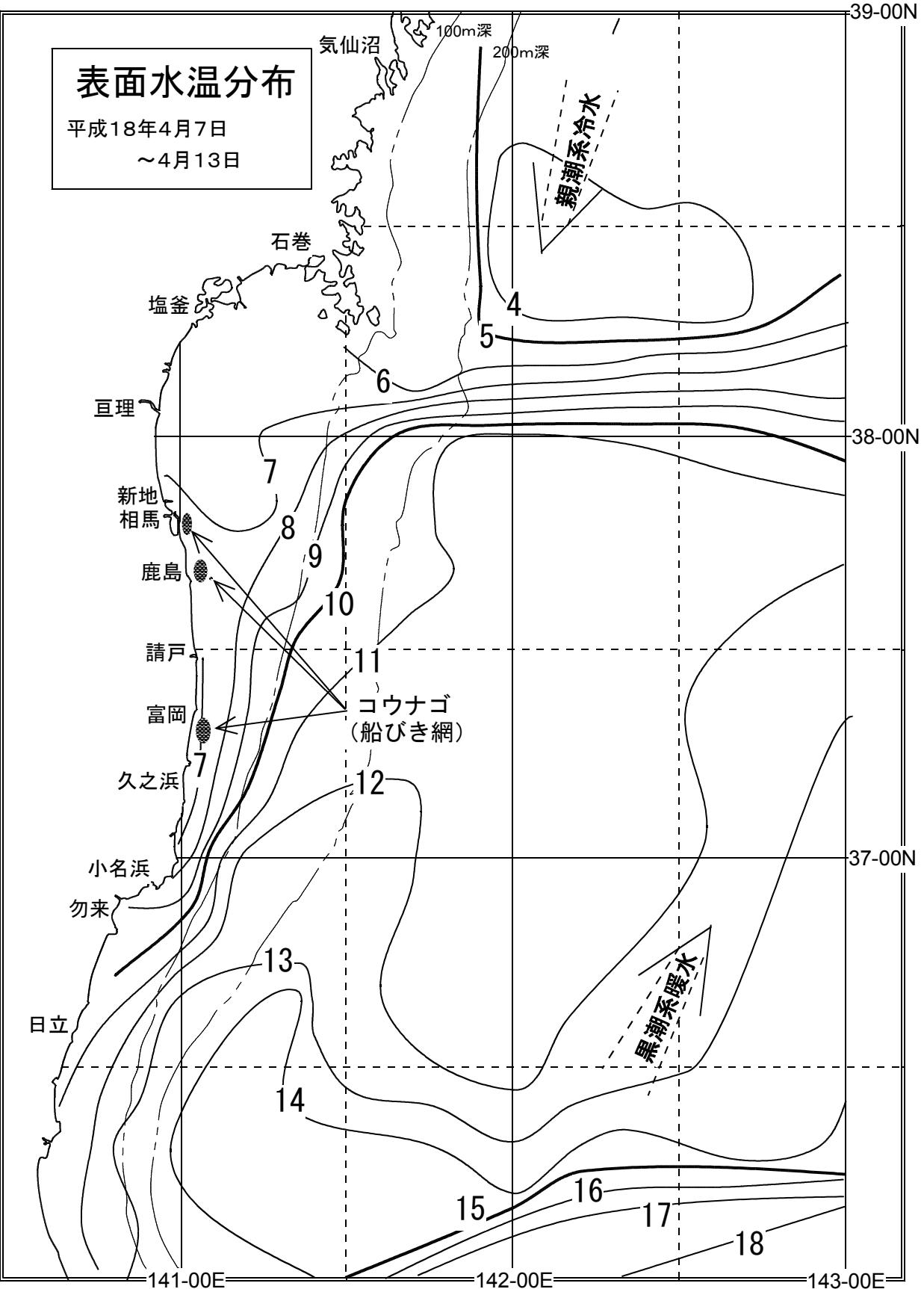
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
4/7	8.8	8.3	7.8	10.2
4/10	8.9	8.7	7.8	12.4
4/11	8.9	8.7	8.4	11.9
4/12	8.9	8.7	8.4	10.8
4/13	8.9	8.8	10.7	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)



表面水温分布

平成18年4月7日
~4月13日



漁海況速報

No.16

平成18年4月21日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の目立った波及
はみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週並
で、小名浜沖では距岸5海里
より沖合、相馬沖では20海里
より沖合に10°C以上が分布し
ている。

③定地水温は、小名浜・大熊
は平年より1°C低く、松川浦
は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移す
るでしょう。

平成18年度東北海区海況予報第1号

・独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所とりまとめにより、4月20日に発表されました標記予報をお知らせします。

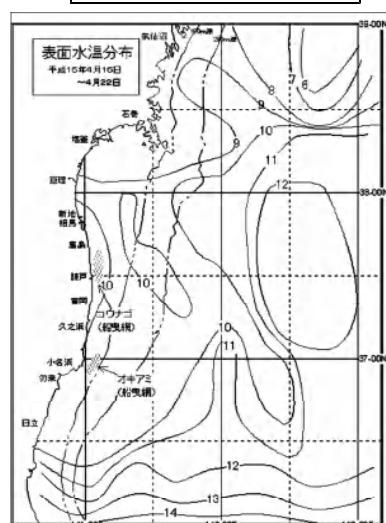
<<今後の見通し(2006年4~6月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、極めて南偏~やや南偏($35^{\circ}\text{N} \sim 36^{\circ}\text{N}$)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並~やや北偏で推移する。
- (3)常磐沖の暖水塊は、近海に停滞する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しが、平年並~やや南偏(38°N まで)で推移し、三陸~常磐沖に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しが、平年並~やや強勢(143°E 付近まで)で推移する。

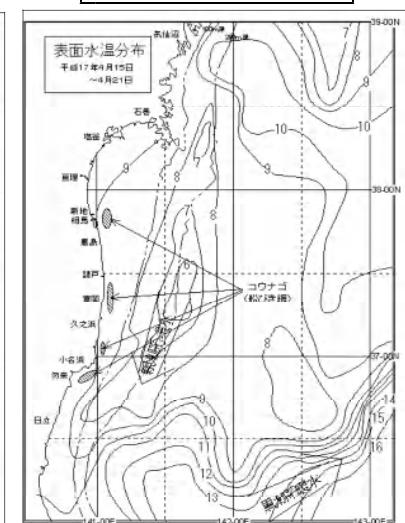
<<福島県海域の予報>>

期間当初は暖水の波及が継続し、水温は平年よりやや高めで推移するが、その後、親潮系冷水が断続的に波及し、水温は平年よりやや低め~平年並みで推移すると予想される。

平成16年同期



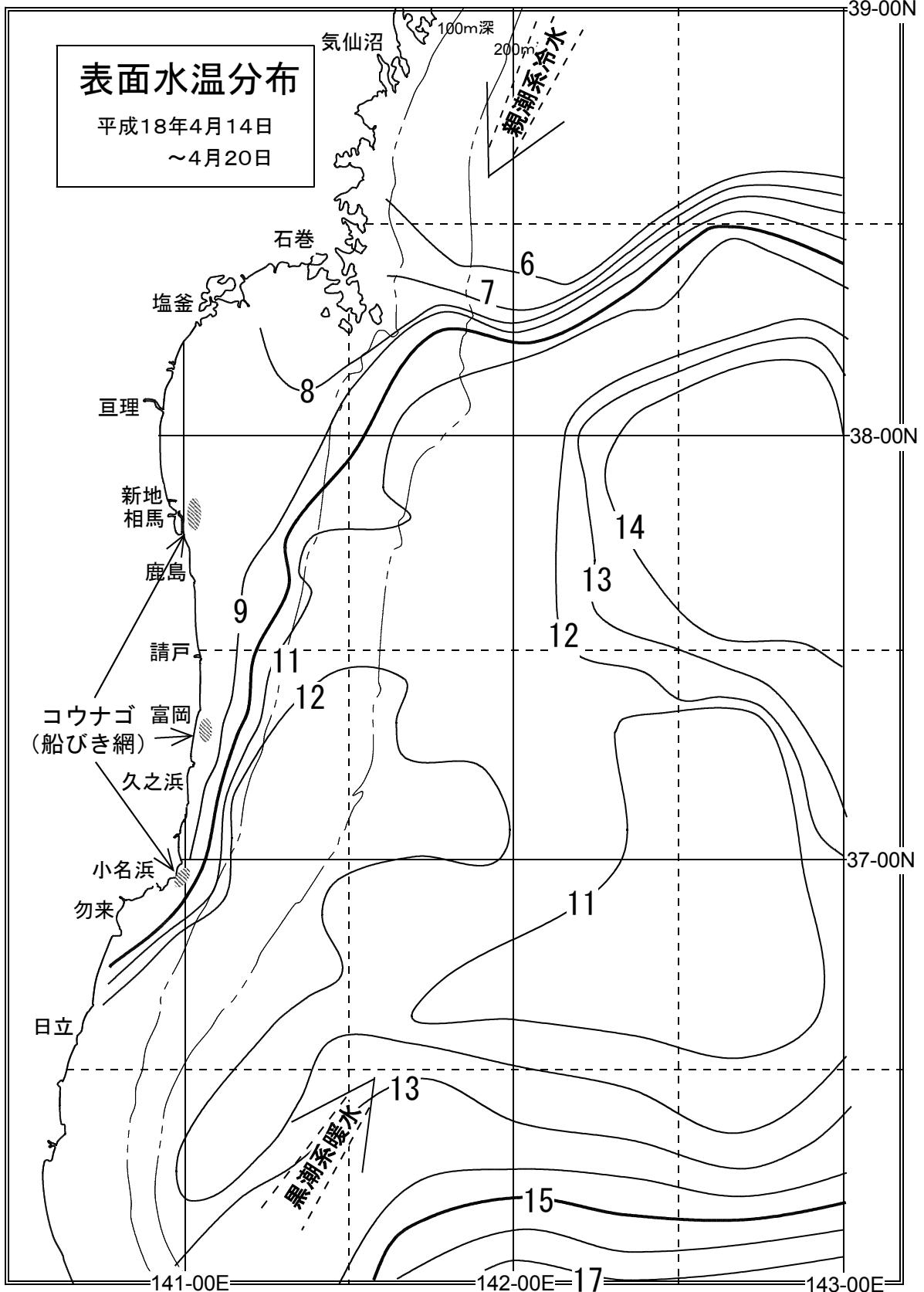
平成17年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
4/14	9.6	9.3	10.5	10.7
4/17	9.5	9.7	9.9	12.6
4/18	9.9	9.7	10.3	12.3
4/19	10.5	9.7	9.8	12.8
4/20	10.5	9.7	9.9	12.7

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)



漁海況速報

No. 17

平成18年4月28日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL 0246-54-3151 FAX 0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

10か

海況 (表面)

- ①親潮系冷水の目立った波及
はみられない。
 - ②黒潮系暖水の勢力は先週並
だがやや昇温し、本県沖には
ごく灘側から10°C以上が広く
分布、勿来沖には16°C台が
みられる。
 - ③定地水温は、小名浜・大熊・
松川浦ともに平年より1°C低
い。

見通し（1週間）

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報 (コウナゴ)

コウナゴの4月20日までの水揚げ状況についてお知らせします。

今期の水揚げ量は約606トン（対前年同期比65%）、金額は175百万円（同42%）、平均単価は369円/kg（同64%）でした。

漁期当初から単価は低めで推移していましたが、4月に入りサイズが大型化したことでさらに低下し、金額での落ち込みが大きくなりました。

1 水揚げ量(トン)	今期	前年同期	対前年比(%)
いわき計	127	165	77
相双計	479	773	62
合 計	606	938	65

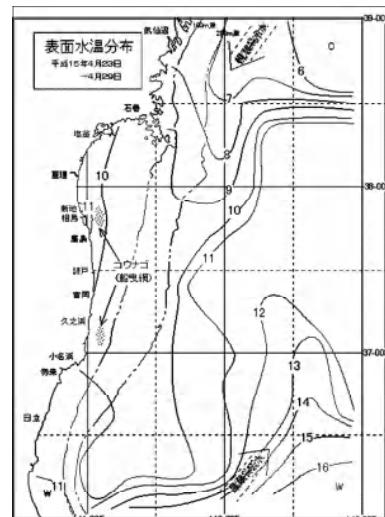
2 水揚げ金額(百万円)			
	今期	前年同期	対前年比(%)
いわき計	48	87	56
相双計	175	451	39
合計	223	538	42

3 平均単価(円／kg)

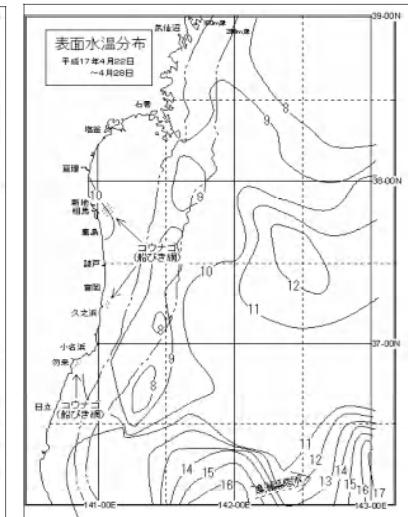
	今期	前年同期	対前年比(%)
いわき計	381	525	73
相双計	366	584	63
合計	369	573	64

※次回の漁海況速報発行は5月12日となります。

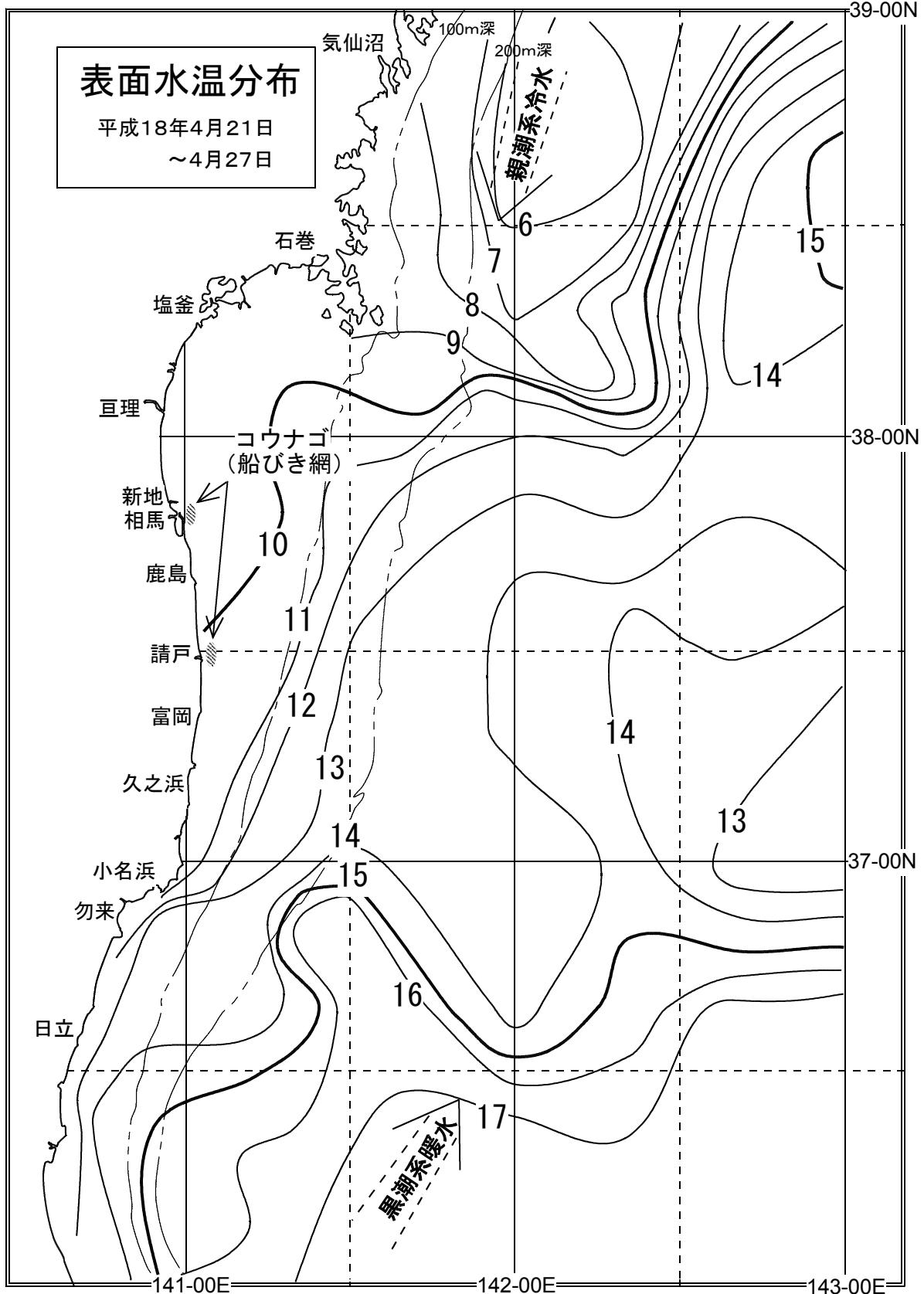
平成 16 年同期



平成 17 年同期



広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



漁海況速報

No.18

平成18年5月12日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の目立った波及はみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週並だがやや昇温し、15°C台の海域が請戸沖まで北上した。

③定地水温は、小名浜・大熊・松川浦ともに平年並。

見通し(1週間)

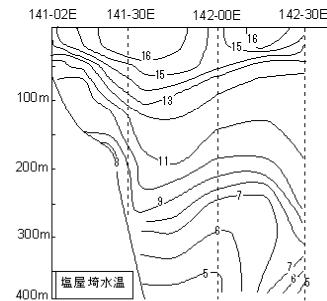
・県北部海域では親潮系冷水の波及が見られ、沖合では水温が低下するでしょう。

平成18年5月海洋観測結果(塩屋崎定線)

- 5月9日に本県調査船「いわき丸」にて行いました海洋観測結果(塩屋崎沖)をお知らせします。
- 観測された水温の50海里沖までの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりで、また水温の鉛直分布は以下の図のとおりでした。

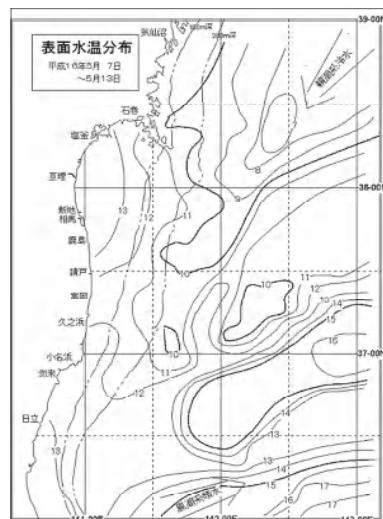
表 塩屋崎沖50マイルまでの水温と前年差・平年差

	観測値	前年差	平年差
平均	15.41	+5.04	+2.08
表面	最低	13.50	+3.30
	最高	17.00	+6.90
50m深	平均	13.61	+5.95
	最低	10.94	+4.37
	最高	15.79	+8.16
100m深	平均	11.71	+4.71
	最低	9.23	+2.62
	最高	13.50	+6.18

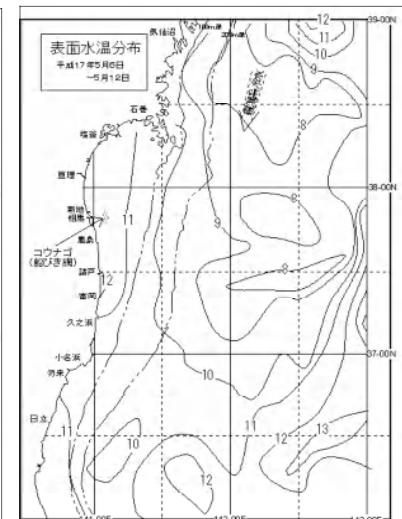


- 黒潮系暖水の顕著な波及がみられ、特に距岸20~40海里付近で水温が高く、100m深水温では平年より高め~極めて高めの水温がみられました。

平成16年同期



平成17年同期



定地・定点水温の推移(°C)

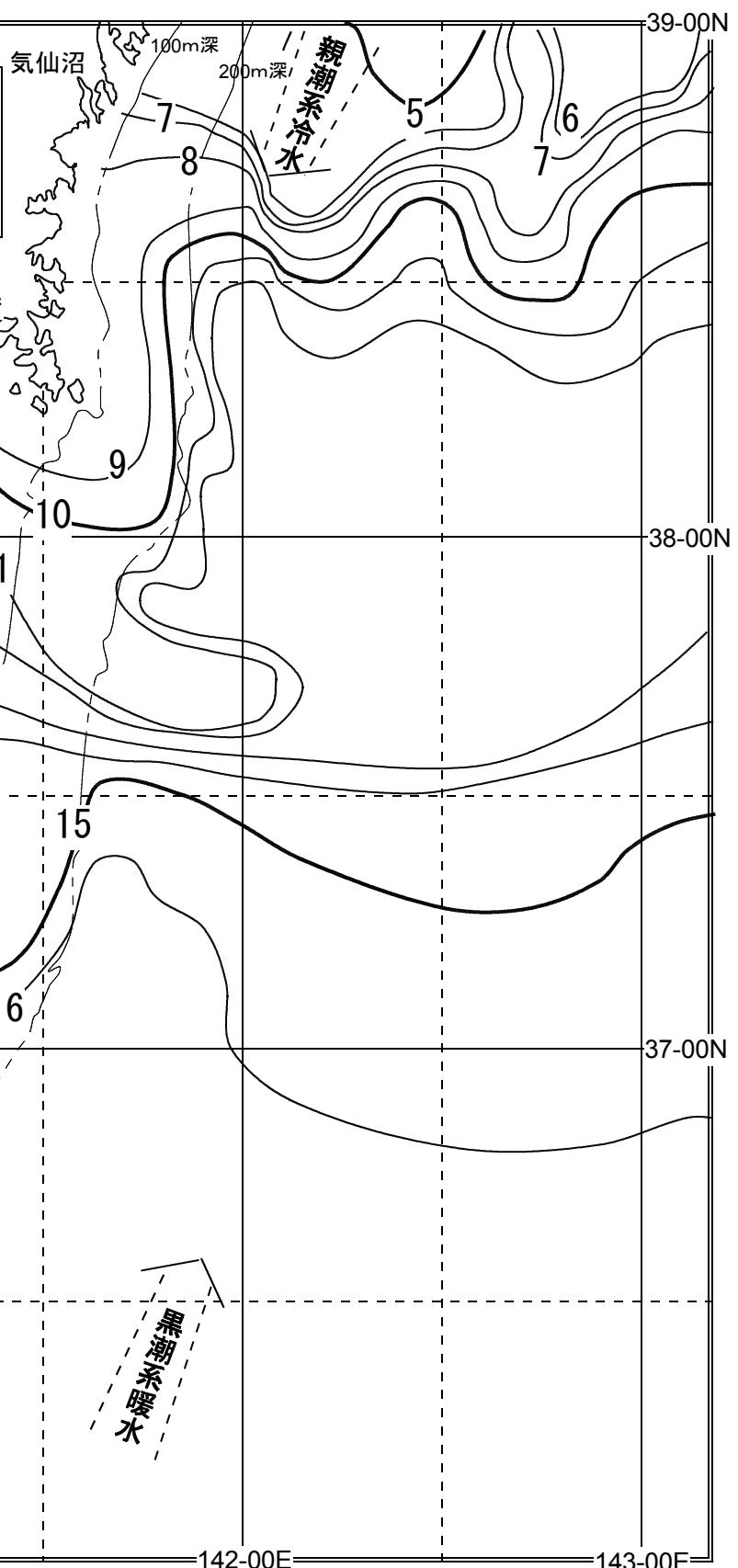
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
5/8	13.0	13.2	12.5	—
5/9	12.7	13.4	12.9	—
5/10	12.9	12.9	14.4	—
5/11	13.5	11.5	15.7	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

表面水温分布

平成18年5月5日

~5月11日



漁海況速報

No.19

平成18年5月19日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の目立った波及はみられない。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週並だがやや昇温し、距岸15海里までは13~14°C、より沖合いには15~16°C台が広く分布している。
- ③定地水温は、小名浜は平年より1°C高く、大熊・松川浦はともに平年並み。

見通し(1週間)

- ・県北部海域では親潮系冷水の波及が見られ、沖合では水温が低下するでしょう。

平成18年5月海洋観測結果(富岡・鵜ノ尾埼定線)

- ・5月15~16日に本県調査船「いわき丸」にて行いました観測結果(富岡・鵜ノ尾埼沖)をお知らせします。
- ・観測された水温の50海里沖までの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

		観測値	前年差	平年差
表面	富岡	15.10	+5.04	+2.83
	鵜ノ尾	12.73	+2.29	+1.23
100m深	富岡	10.56	+4.07	+2.95
	鵜ノ尾	7.84	+0.55	+0.60

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- ・黒潮系暖水の波及が顕著で、富岡沖の全域と鵜ノ尾埼沖の距岸50海里から沖合では100m深で平年よりやや高め~極めて高めの水温がみられましたが、鵜ノ尾埼沖30~40海里付近には親潮由来とみられる、比較的低水温・低塩分の水塊がみられました。

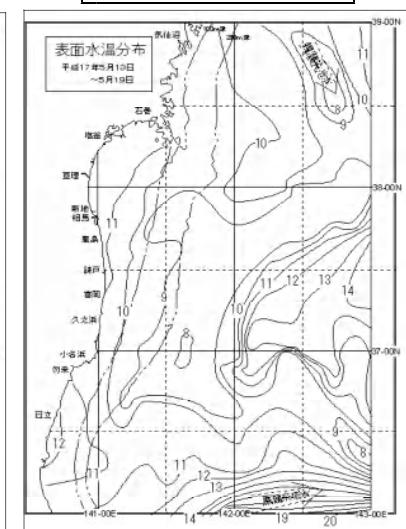
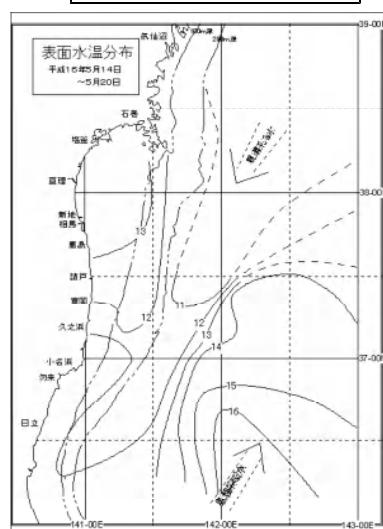
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
5/12	12.9	11.6	15.0	14.2
5/15	14.4	13.0	14.9	15.6
5/16	14.7	12.6	14.8	15.8
5/17	14.3	13.3	14.4	15.8
5/18	14.9	13.6	14.5	16.0

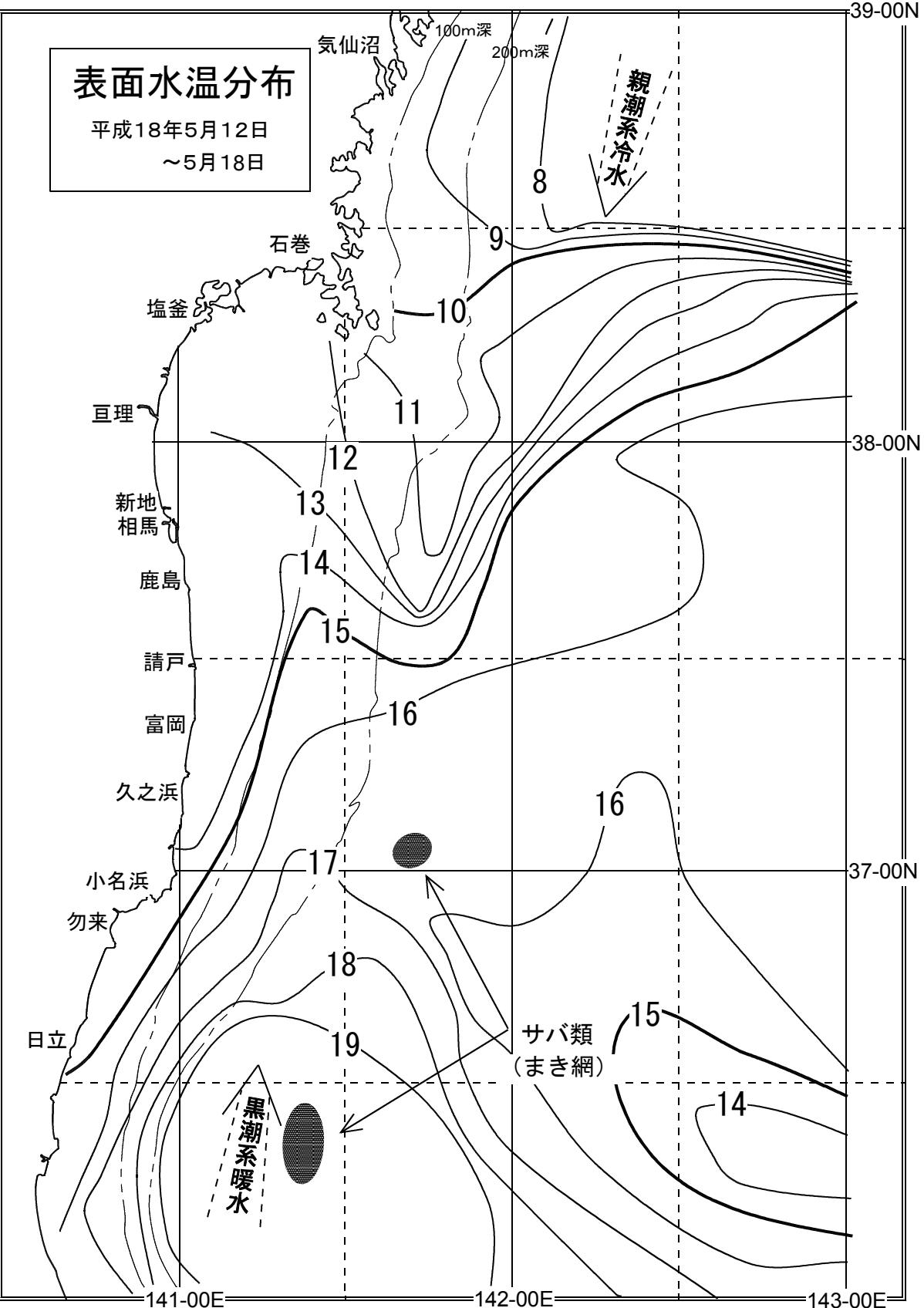
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)



表面水温分布

平成18年5月12日

~5月18日



漁海況速報

No.20

平成18年5月26日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の目立った波及びみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週並で、距岸15海里までは13~14°C、より沖合いには15~16°C台が広く分布している。

③定地水温は、小名浜は平年より2°C高く、大熊は平年並み、松川浦は1°C高い。

見通し(1週間)

・県北部海域では親潮系冷水の波及び見られ、沖合では水温が低下するでしょう。

漁況情報(カツオ)

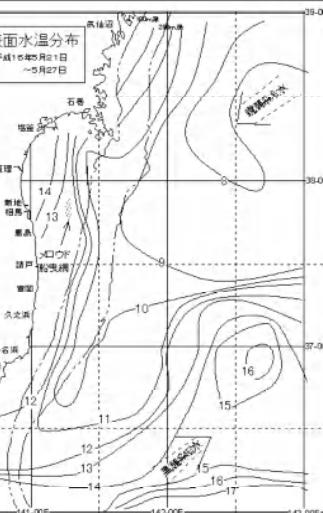
- ・5月20日までのカツオの水揚状況は以下のとおりです。
- ・水揚げ量: 301トン(前年同期比127%)
- ・金額: 165百万円(同142%)
- ・単価: 549円/kg(同112%)
- ・魚体: 水揚げサイズの中心は、例年通り45~48cm(尾叉長)、体重は1kg後半~2kg程度。

表 福島県の今年および過去5年のカツオ水揚状況(属地)

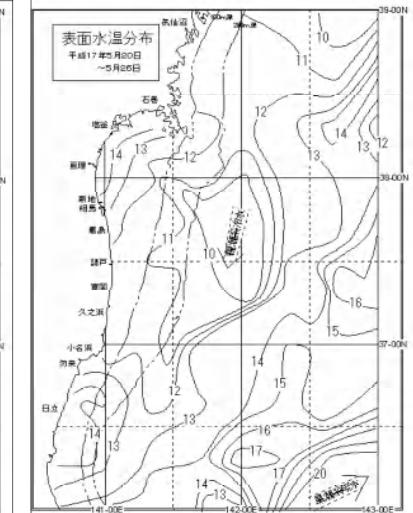
	水揚げ量 (トン)	金額 (百万円)	平均単価 (円/kg)
H13年	390	199	511
H14年	43	37	857
H15年	517	152	294
H16年	828	496	599
H17年	237	116	490
H18年	301	165	549

・本県には色々な魚が水揚げされますが、カツオの年間水揚げ量は約1万トン、水揚げ金額は約23億円(平成元年~17年の平均値)にもなり、本県ではここ数年トップを独走しています。

平成16年同期



平成17年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
5/19	15.1	13.3	14.1	16.3
5/22	15.4	13.8	15.3	17.1
5/23	16.1	12.6	15.9	16.5
5/24	14.3	11.7	17.4	15.9
5/25	14.9	13.4	18.3	15.5

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km沖)

表面水温分布

平成18年5月19日
~5月25日

